

令和6年12月19日

日本農業法人協会

六次産業化現地交流会実施要領

1. 趣旨

近年の世界情勢の不安定化などによる資材価格の高騰や国内の最低賃金の引き上げなど、農業法人にとって厳しい経営環境が続いており、経営の安定や発展に向けた経営多角化による収益性の向上が喫緊の課題となっている。

一方、農業法人における経営の多角化は、農林水産省の統計で全国平均8.2%、法人経営体の平均24.3%だが、日本農業法人協会会員で73.7%（2023年農業法人白書）と高くなっているものの協会会員の六次産業化率は約35%に留まっている。

経営の多角化・六次産業化には経営全体のマネジメントを確立するとともに、先進的な取り組みや加工・販売などの事業展開に係る情報収集が課題解決に不可欠であり、既存の各種サービスや技術を有する企業等と農業法人との連携の強化・発展が期待されている。

このため、農業法人及び企業・関係団体等を参集し、農業法人による六次産業化の先進事例の紹介及び現地視察、併せて課題解決につながる技術・サービス等に関する情報提供を行うため開催する。

2. 主催・協力

（主催）日本農業法人協会

（協力）宮城県農業法人協会、及び会員

3. 参集範囲：日本農業法人協会 正会員、賛助会員、アグリサポート倶楽部会員（以下ASC会員という）、及び都道府県農業法人協会各会員、関係組織、民間事業者

4. 日 程：令和7年2月5日（水）～6日（木）の一泊二日

5. 内 容：セミナー・パネルディスカッション及び現地研修、交流会
＜プログラム＞

1日目（くりこま高原駅からバス送迎、または直接会場入り）

13：30 受付開始

14：00～18：00 講演・セミナー

基調講演：伊藤秀雄（（有）伊豆沼農産 会長/日本農業法人協会元副会長）

事例報告：協会会員（予定）

パネルディスカッション

〔キーワード：総合マネジメント、人材確保、商品の差別化・ブランド化等マーケティング、施設・機械の整備・調達、技術・ノウハウの習得・向上等〕

18：30～20：00 交流会、宿泊

※講演・会食・宿泊先：サンシャイン佐沼（宿泊の一部は近隣のホテル）

（サンシャイン佐沼：宮城県登米市迫町佐沼字中江5丁目5-10 TEL/0220-22-8180）

2日目（バス移動）

8：00～8：30 ホテル出発

9：00～10：15 現地視察・研修（栗原ファーマーズラボ）

11：00～13：00 現地視察・研修（伊豆沼農産、昼食）

13：40頃 くりこま高原駅解散

（くりこま高原駅14：00発やまびこ58号→16：24東京駅着）

6. 参加費・申込方法

- (1) 参加費：(1泊3食(交流会・二日目朝・昼食込))
日本農業法人協会 正会員・都道府県組織事務局職員：40,000円、
賛助・ASC会員 50,000円
- (2) 定員：20名～45名(参加者が20名に満たない場合は中止します)
- (3) 申込方法：申込フォーム、または別添様式で keiei-sien@hojin.or.jp へメール
- (4) 申込期限：令和7年1月21日(火)17時

7. その他

○本事業は、「農業技術革新・連携フォーラム2025」のセミナー・分科会として、1日目のプログラム「講演・セミナー」をオンライン・オンデマンド配信する予定です。

8. お問い合わせ 公益社団法人日本農業法人協会 経営支援課 上野・岸本・吉澤
Keiei-sien@hojin.or.jp

以上

(ご参考)

<新幹線>

- ・東京発：東京発 10:37 やまびこ 55号→13:01 くりこま高原着
または
- ・東京発：東京発 10:45 はやぶさ 19号→12:15 仙台着・乗換 12:39 発やまびこ 57号→
13:01 くりこま高原着
- ・青森発：新青森発 10:39 はやぶさ 18号→11:43 盛岡着・乗換 12:08 発やまびこ 56号
→13:00 くりこま高原着
- ・山形発：山形発 11:01 仙山線各停→12:27 仙台着・乗換 12:39 発やまびこ 57号→13:01
くりこま高原着
- ・福島発：福島発 12:17 やまびこ 57号→13:01 くりこま高原着

<バス>

- ・仙台駅からバス：11:10 仙台駅(旧さくら野前31番)発バス→12:46 登米市役所着
12:10 " " " " →13:46 "

以上

(参考)

仙台駅バス乗り場図

③①番

